

【令和8年度 予算要求の方針】

急速に変化する社会経済状況や新たな市民ニーズに対し、機動的かつ組織横断的な事業展開を行うため、政策立案機能の強化、マーケティング思考の醸成、戦略的広報やシティプロモーションの強化等の取り組みを行う。

特に、市の施策やイベント情報等の発信力強化に努め、市民の共感を得て、市民に参画・協力してもらえるような「伝わる」広報を目指す。また、「Kitakyushu Action!」を旗印に、統一感のある戦略的広報・ブランディングを展開し、北九州市のポテンシャルや魅力のさらなる発信を行う。

【模様替えの考え方】

情報発信の分野において、相対的に利用率が低く、聴取率の検証も難しいラジオによる情報発信のあり方を見直すほか、これまで展示スペースとして活用してきた小倉駅日観光案内所を、新たににぎわい創出の場として活用することで、装飾に係る経費削減に繋げるとともに、地域活性化の拠点を構築する。

【令和8年度 予算要求の基本的な考え方】

⑨：新規事業、⑩：拡充事業

●「彩りあるまち」の実現

要求額 112百万円 (対前年度 +9.8%)

職員の広報スキルを向上させるとともに、動画を活用した分かりやすく共感を得る情報発信の強化や市政情報への接触機会を増やすこと等により、より市民に「伝わる」広報を実践する。

また、アンケート結果やメディアへの露出状況を検証し、首都圏等への戦略的な情報発信をさらに強化することにより、まちのにぎわいづくりや集客を後押しするほか、「選ばれるまち」に不可欠な都市イメージの向上を図る。

- ・⑩ 情報発信強化事業、民間専門人材活用事業
- ・シティプロモーション推進事業

●その他の取り組み

要求額 7百万円 (対前年度 0%)

市の事業やプロジェクトをより訴求力ある、質の高いものとするため、マーケティングの視点に基づき、データ活用による目的やターゲットの明確化などの取組を推進するとともに、各種研修等を通じて市職員のマーケティング思考の醸成を図る。

- ・マーケティング推進事業



※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和8年度に実施することが確定しているものではありません。

重点的に取り組みたい主なもの

(単位：千円)

「稼げるまち」の実現		
該当なし		
「彩りあるまち」の実現		
1	拡	【事業名】 情報発信強化事業 【事業費】 40,989千円 【事業概要】 施策・イベント等、本市の情報を市民へ正確に迅速かつ分かりやすく、より効果的に届けるため、SNS・LINE等を活用した情報発信を強化することで、市民の満足度の向上とまちのにぎわい創出を図る。
2	拡	【事業名】 民間専門人材活用事業 【事業費】 40,425千円 【事業概要】 国の「地域活性化起業人」制度を活用し、民間企業等の専門人材を受け入れることで、地域の課題解決を図る。動画ニーズが高まる中、「読む」から「観る」を意識した動画による情報発信の強化に向け、令和8年度は新たに2名活用を検討しており、撮影・制作・編集をプロに任せることにより、報道機関に頼らない市独自の情報発信スキームを構築する。
3	拡	【事業名】 広報業務管理事務（広報研修） 【事業費】 13,771千円 【事業概要】 事故や災害などの突発的な報道対応や広報に備え、専門講師を招いた研修を実施し、迅速かつ正確な情報発信体制の強化を図る。
4		【事業名】 シティプロモーション推進事業 【事業費】 70,900千円 【事業概要】 「マイナスの克服」「確証バイアスの払拭」に向けて、「Kitakyushu Action!」を旗印に様々なメディア等を戦略的に活用し、シティプロモーションを展開する。また、広報・プロモーション活動にて対外的な魅力発信を行い、市外からの良い評価や魅力度向上により、市民のシビックプライド醸成を行う。
「安らぐまち」の実現		
該当なし		
その他の取り組み		
5		【事業名】 マーケティング推進事業 【事業費】 6,282千円 【事業概要】 事業やプロジェクトにおいて、訴求力のあるプロモーションや質の高い取組を展開するため、データを活用して目的やターゲットを明確化するなど、マーケティングの視点に基づく取組を推進するとともに、各種研修等を通じて、市職員のマーケティング思考の醸成を図る。